

# S.COAT No.2000/2015 ECOクリヤー



## ●クリヤーの種類と特徴 (NO.2015 は ECO 環境対応、NO.2000 は従来タイプ)

製品名	タイプ	混合比率 (重量比)	シンナー希釈率 (%)	使用温度 (℃)	特徴
<b>2015 HX</b>	速乾	10 : 1	5~15	0~25	PRTR特化則対応の10 : 1クリヤー。速乾でみがき性が良好。TXクリヤーとのブレンドが可能。
<b>2015 TX</b>	高外観		5~15	20~35	PRTR特化則対応の10 : 1クリヤーで、肌のびがよく、夏場に最適。
<b>2015 CSV</b>	速乾	5 : 1	0~15	0~25	コストパフォーマンスに優れ、作業性を重視した5 : 1クリヤー。希釈無しでも使用可能。
<b>2015 CTV</b>	高外観		0~15	15~35	コストパフォーマンスに優れ、仕上がり肌を重視した5 : 1クリヤー。20℃以上で高い塗装パフォーマンス。
<b>2000 S</b>	超速乾 (濃縮)	4 : 1	30~60	0~20	濃縮タイプで、冬場や寒冷地での塗装に最適。夏場のパネル塗装も可能。業界No.1の超速乾クリヤー。
<b>2000 H</b>	速乾 (濃縮)		25~55	5~30	濃縮タイプで、速乾クリヤーの定番。シンナー希釈が多く塗装温度範囲が広い。
<b>2000 T</b>	高外観 (濃縮)		20~50	15~35	濃縮タイプで、高外観クリヤーの定番。シンナー希釈が多く塗装温度範囲が広い。大型車の塗装に最適。
<b>2000 HN</b>	速乾		0~15	10~30	他社4 : 1クリヤーに比べ外観がよく、作業性に優れる速乾タイプ。TNとのブレンドも可能。
<b>2000 TN</b>	高外観		0~15	15~35	他社4 : 1クリヤーに比べ外観がよく、作業性に優れる高外観クリヤー。HNとのブレンドも可能。
<b>2015 FSⅢ</b>	超速乾		3 : 1	10~25	0~20
<b>2015 FHⅢ</b>	高外観 (速乾)	10~25		5~25	HNの外観を向上させたタイプ。仕上り性、乾燥性、みがき作業性に優れ、業界No.1のコストパフォーマンス。
<b>2015 FTⅢ</b>	超高外観	15~30		10~35	TNの外観を向上させたタイプ。仕上り性、塗肌、みがき作業性に優れる。業界No.1クリヤー。
<b>2015 GH</b>	超高外観 耐スリ・速乾	2 : 1	20~35	10~25	速乾性をもつ、超高外観クリヤー。仕上がり、作業性が抜群。耐スリキズクリヤーの特徴も併せ持つ最高級品。
<b>2015 G</b>	超高外観 耐スリ		10~20	15~30	最高の肉持ち感とツヤ肌がよく高級車の塗装に最適。耐スリキズクリヤーの特徴も併せ持つ最高級品。
<b>2015 GT</b>	超高外観 耐スリ		15~30	20~35	Gクリヤーの特化則対応クリヤー、肌のびがよく夏場に最適。G,GHクリヤーとのブレンドも可能。

## 硬化剤の種類(共通硬化剤)

	危険物表示	荷姿
硬化剤 速乾	4類第1石油類	3.8Kg
硬化剤 標準	4類第2石油類	3.8Kg
硬化剤 遅乾	4類第2石油類	3.8Kg
硬化剤 超遅乾	4類第2石油類	3.8Kg

●業界初の完全共通硬化剤 (サフェサー、ベースコートにも使用できる)

## クリヤーの添加剤(1ℓ)

硬化促進剤	3~5%の添加で硬化促進が可能で、仕上がり性の低下が少ない経済的な商品です。
ツヤ消し剤Ⅱ	ツヤムラになりにくく、ツヤ消し効果が大い。 試し塗りの実施をお願いします。
軟化剤	少量の添加で軟化が可能な経済的な商品で、磨き性・乾燥時間の変化が少ない。PPは3%、ウレタンバンパーは5%添加。
はじき防止剤	少量の添加ではじき防止効果がある。主剤に対して3%以下でご使用下さい。



株式会社 エスコート  
http://www.scoat.co.jp

本社 / 〒651-2228 神戸市西区見津が丘1丁目2-9  
TEL 078-201-5316 FAX 078-201-7433  
研究センター / 〒651-2228 神戸市西区見津が丘1丁目2-9  
TEL 078-202-9074 FAX 078-202-9086

# ■季節によるクリヤーと硬化剤の使い方 (例1～例13)

## 1) 作業性重視で速乾性の作業を希望の場合

製品名	適正温度範囲 (°C)			備考
	硬化剤速乾	硬化剤標準	硬化剤遅乾	
例1 S	0～15	5～25	15～35	塗装温度が5°C以下の場合おすすめてです。
例2 H	0～15	5～25	20～35	シンナー硬化剤で仕上がり性を調整
例3 HN	5～15	10～30	20～35	冬場には硬化促進剤を利用してください。
例4 FHⅢ	5～15	10～30	20～35	シンナー硬化剤で仕上がり性を調整
例5 FSⅢ	0～15	10～25	20～35	冬場に最適な3:1クリヤーです。
例6 CSV	5～15	10～30	20～35	冬場には硬化促進剤を利用してください。
例7 HX	5～15	10～30	20～25	

## 2) 冬場は作業性を夏場は仕上がり性を希望される場合 (例8)

製品名	適正温度範囲 (°C)			備考
	硬化剤速乾	硬化剤標準	硬化剤遅乾	
冬 HN	5～15	10～15	—	5°C以下では硬化促進剤の利用も検討下さい。
春・秋 HN/TN	—	15～25	—	HN/TNの併用あるいは混合で使用下さい。
夏 TN	—	20～30	25～40	夏場は遅いシンナーを利用下さい。

※HN (HX, FHⅢ) およびTN (TX, FTⅢ) クリヤーの併用あるいはブレンド(混合)で季節に合わせた使用方法を行ってください。多くのボディショップで利用いただける一般的な使用方法です。

## 3) 高外観で冬場の作業性・夏場は仕上がり性を希望される場合 (例9)

製品名	適正温度範囲 (°C)			備考
	硬化剤速乾	硬化剤標準	硬化剤遅乾	
冬 FSⅢ	0～15	10～25	—	—
春・秋 FSⅢ/FTⅢ	—	15～25	—	FSⅢ/FTⅢの併用あるいは混合で使用下さい。
夏 FTⅢ	—	20～30	25～40	夏場は遅いシンナーを利用下さい。

## 4) 仕上がり性を重視したいあるいは大型車の塗装を希望される場合 (例10、11)

製品名	適正温度範囲 (°C)			備考
	硬化剤速乾	硬化剤標準	硬化剤遅乾	
例10 T	5～15	15～25	25～40	シンナー硬化剤で仕上りを調整
例11 TN, FTⅢ	10～15	15～30	25～40	シンナー硬化剤で仕上りを調整

※冬場は硬化促進剤の利用も検討ください。仕上がり性を重視されるボディショップで有効な使用方法です。全塗装およびバス、トラック等の大型車の塗装に最適です。







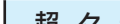
## 5) 高級車の耐スリ傷性クリヤー塗装を希望される場合 (例12、13)

製品名	適正温度範囲 (°C)			備考
	硬化剤速乾	硬化剤標準	硬化剤遅乾	
例12 G, GT	10～15	15～30	25～40	シンナーおよび硬化剤で仕上りを調整してください。冬場は硬化促進剤も利用下さい。
例13 GH	0～15	10～25	20～35	

※高級車、濃色の殺傷性(耐スリ傷性)が要求される場合の塗装に最適です。

# ■S.COAT No.2015 ECO(2000シンナー)シンナーの選定

 パネル3枚～4枚  
 パネル1枚～2枚

シンナーの種類	作業温度						
	5°C	10°C	15°C	20°C	25°C	30°C	35°C
超々遅乾							
超遅乾							
遅乾							
標準							
速乾							
超速乾							
超々速乾							

※クリヤー、SPフィラー、SVフィラー、ベースの共通シンナー